

わかば

会報 わかば 78号

府立第六高等女学校・都立三田高等学校同窓会
 一般社団法人ワカバ会
 〒108-0073 東京都港区三田1-4-46
 電話03-3451-0227 FAX03-3452-4590
 時間午前10時～午後4時 休日金曜・土曜・日曜・祝祭日
 E-mail:t-mita@wakaba-kai.org
 HP:http://www.wakaba-kai.org/

祝 第71回日本芸術院賞受賞 馬越陽子さん(高校4-1)



受賞作「人間の大河ーいのち舞う・不死の愛ー」2013年作 200号

ワカバ会会員の洋画家・馬越陽子さん(高4-1)が、第71回日本芸術院賞(2014年度)を受賞された。芸術の発展に寄与した功績をたたえる国の榮譽賞であり、女性洋画家として二人目の受賞である。馬越さんの受賞は、ワカバ会として大きな誇りであり、本号ではお祝いの特集を組んだ。馬越さんは「私のテーマは一貫して人間とその生命の大河」と語る。
 (受賞作は日本芸術院所蔵)

新役員体制になって



ワカバ会会長 三輪田 真

(22-6)

今年も異常気象や自然災害が話題となっておりますが、皆様お元気にお過ごしでしょうか。

表紙と特集でご紹介しております馬越陽子さんのご活躍にはめざましいものがありますが、多くの同窓生の皆様がさまざまな分野で活躍されていることを見聞きするたびに、たいへん誇らしく感じております。

さて、この秋でワカバ会が一般社団法人となつて2年半になりました。今年5月の総会においては一般社団法人発足時から任期2年が経過したため理事の改選が行われ、新任3名を含む16名が理事となりました(15ページの役員名簿を参照願います)。さらにその中から代表理事として会長に三輪田、副会長に西上原、平山が引き続き選ばれました。新役員も含めた新しい体制で、今後もワカバ会の維持発展に努めていきたいと思っております。

また改選に際し、これまで長く理事を務められた茨木万理氏、笠原俊也氏が退任され、そ

の後、監事を務められていた市倉信義氏も辞任されました。お三人の長年にわたるご貢献に改めて感謝申し上げます。

ワカバ会では新年度においても、同窓会機能を充実させ、会員の交流する場を提供していきたいと思っております。その一環で今年度も見学会等を催しておりますが、東京駅・ステーションホテル、筑波宇宙センター、東京国立近代美術館については、すぐ満員になる盛況ぶりですので、ご期待に沿うよう次の企画を検討している状況です。また、公益的事業として丸山記念奨学金も継続いたします。経済的に困難な状況の中で目標に向かって努力している現役生徒を支援しておりますが、昨今は奨学金希望者がたいへん多い状況です。奨学金枠の拡大に向け、ワカバ会グッズ販売に伴う寄付金をはじめ皆様からのご寄付も歓迎しておりますので、何かの機会にご協力いただければ幸いです。

この会報をお届けするにあたり、会員の皆様のご健勝を祈念するとともに、今後とも一層のご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

二つの指定を受けました



ワカバ会名誉会長 三田 高校校長 笹 のぶえ

日頃より、奨学金制度やキャリア教育を通して、在校生へのご支援を賜りまして誠にありがとうございます。今後とも温かいご支援をお願い申し上げます。

今年度は、東京都教育委員会の新たな二つの指定事業を活用し、次代を生きたる三田高生に必要な質の高いコミュニケーション能力育成や国際理解教育の充実を図っていただける年になりました。

一つが、「言語能力向上拠点校」です。オリエンテーションキャンプでの読書プレゼン、課題研究の土台作りのための「評論演習」、楽しく学ぶための英語の多読等を、この事業に位置付け更に充実を図って参ります。白珠祭のクラス劇実施に向けては、言語と身体活動を使って表現する方法を

学びます。白珠祭演劇部門で一年生の栄えある優勝に結びつきました。ペア学習や教え合いの手法を取り入れた各授業実践、相手の心を開く挨拶や正しい敬語を使いこなせる生活指導も日々の学校生活の中で励行している言語能力向上の指導です。

二つ目の「オリンピック・パラリンピック教育推進校」の指定を、本校では国際理解教育の一層の充実に活用させます。「留学生が先生」のオール台湾プログラムや図書館の参考資料の充実、海外修学旅行で初訪問となる台湾について十分な事前学習を支援するものです。国際理解委員やユネスコ委員会を中心に実施してきた大使館等駐日外国公館・駐日国際機関との交流に加え、今年には駐日外交官の方と生徒が直接お話をできる機会も都立中央図書館と連携し紹介します。

ホームカミングデーの皆様、ぜひ総会へ！

来年度総会のホームカミングにあたるのは、昭和11年(第六9回生)、昭和21年(第六19回生)、昭和31年(三田8回生)、昭和41年(三田18回生)、昭和51年(三田28回生)、昭和61年(三田38回生)、平成8年(三田48回生)、平成18年(三田58回生)の各3月に卒業された方々です。該当年の方々には後日ご案内を送付いたします。詳しくは春号でお知らせいたします。

第12回 同窓会ギャラリー



細谷 芳子(第六17-イ)



香河 郁世(高4-4)



栗原 ふみ子(高5-5)



大塚 京子(高6-1)



江村 千砂子(高8-1)



小粥 和子(高8-6)



中垣 俊二(高8-2)



市川 幸子(高8-3)



玉井 周子(高8-6)



片山 優子(高19-2)



小幡 則子(高32-3)



鈴木 茂晴(高12-3)



國島 節子(高26-1)



河合 英子(高17-4)



田澤 恵子(高26-1)



田中 順子(高31-2)



大平 玲子(高39-1)



松原 幹子(高38-8)

(敬称略)

第12回同窓会ギャラリー出品作一覧 素晴らしい作品をありがとうございました

— 三田高第60回白珠祭出展 2015.9.12(土)・13(日) —

(回順、敬称略)

細谷 芳子 (藤井) (17-イ) 書	鈴木 茂晴 (12-3) デジタルアート
香河 郁世 (田中) (4-4) 編み物(セーター)	河合 英子 (杉山) (17-4) スケッチ
栗原 ふみ子 (森) (5-5) 日本画	片山 優子 (中山) (19-2) 洋裁
大塚 京子 (木村) (6-1) 書、洋服	國島 節子 (26-1) 絵
江村 千砂子 (藤田) (8-1) シャドーボックス	田澤 恵子 (吉村) (26-1) シャドーボックス
中垣 俊二 (8-2) 水彩画	田中 順子 (小泉) (31-2) 切り
市川 幸子 (長沼) (8-3) 写真	小幡 則子 (平田) (32-3) シャドーボックス
玉井 周子 (村上) (8-6) 油絵	松原 幹子 (富塚) (38-8) プリザーブドフラワー
小粥 和子 (安江) (8-6) シルクスクリーン	大平 玲子 (児玉) (39-1) 編み物

ワカバ会行事のご案内

まだまだご参加いただけます

☆お申込は、ワカバ会事務局へ
TEL、FAX、メールにてお願いいたします
各行事ともお申込者には別途詳細通知を
差し上げます。

緊急追加 !! 第 3 回 筑波宇宙センター見学会 - 11 月 4 日 (水) 10 時 30 分より受付開始 (先着順) -

第 2 回見学会 (7 月 24 日実施) では申込が殺到したため、ご希望にそえずに申し訳ございませんでした。大好評につき急遽追加企画です!

期日: 2016 年 3 月 25 日 (金)

場所: 筑波宇宙センター

集合: 10:30 現地集合 (東京駅より高速バス等)

昼食: 「筑波ハム レストラン自然味工房」
(送迎マイクロバスにて移動)

解散: 14:30 頃つくば駅

案内: 三輪田真 (22 - 6)

内容: 宇宙センターの紹介→見学コース (宇宙飛行士コース) →展示館→売店にて宇宙関連グッズの買い物→昼食 (筑波ハム) →つくば駅にて解散

参加費: 3,000 円予定 (宇宙センター見学科、昼食、飲み物、保険料 他)

定員: 20 名

※写真付き身分証明書の提示が必要ですのでご持参ください。

第 3 回 ワカバ会観劇会「新春浅草歌舞伎観劇会」

新しい時代の幕開け! 若さ溢れる花形俳優が挑みます。芝居の始まりはお正月らしく恒例の役者によるご挨拶があります。新年の浅草散策も楽しませてはいかがですか。

期日: 2016 年 1 月 15 日 (金) 11 時開演

場所: 浅草公会堂

東京メトロ銀座線・都営浅草線・東武鉄道「浅草駅」下車徒歩 5 分

つくばエクスプレス「浅草駅」下車徒歩 3 分

演目: 「未定」 お年玉 (年始ご挨拶)

出演者: 尾上松也、坂東巳之助、坂東新悟、中村米吉、中村隼人、中村国生 他

会費: ワカバ会特別価格 9,000 円

(一等席観劇代 + お弁当)

※通常価格 一等席 9,000 円

申込締切: 11 月末日

第 4 回 ワカバ会湘南散歩

～学んで食べて友人作り～

「『湘南』発祥の地と目される大磯を訪ねて」

期日: 2016 年 3 月 30 日 (水)

時間: 午前 10 時集合 午後 4 時 30 分頃解散
(列車時刻は直前に通知します)

集合場所: JR 東海道線 大磯駅改札外
(洗面所は改札外にあります)

解散場所: JR 東海道線 大磯駅

訪ねる場所: 海水浴場発祥の地の碑、地福寺 (島崎藤村夫妻が眠る墓地)、島崎藤村旧宅、神奈川県立城山 (じょうやま) 公園、吉田茂元首相邸 (現在修復中。来春には復興見込)

昼食場所: はやし亭 (予定)

会費: 3,800 円 (食事、見学科、保険料他)
交通費は自己負担

講師: NHK 文化センター (横浜) 講師 中村實先生

申込締切: 2016 年 3 月 3 日 (木)

定員: 25 名

第 23 回 ワカバ会健康麻雀大会

昨年 21 回を迎え、今年は新しい気持ちで 22 回をスタートさせていただきました。脳の活性化、友人作りを目標にした知的室内ゲームです。お酒を飲まない、タバコを吸わない、お金をかけない、をスローガンに健康麻雀は人気を呼んでおります。

今年の大会参加者は 9 卓と最高のにぎわいでした。男性の方々も 1 名ふえ、2 名、3 名と増え、一緒に楽しませております。また、ワカバ会報を読まれて毎年 4 ~ 5 人の方々が入会され喜ばれております。入会希望のあるあなたもぜひご一報ください。

なお年 1 回の大会のほか月に 1 回、同好会の皆さんによる月例会も開いております。

1 回の会費は 2,000 円です。(会場費 1,700 円、賞品ならびにおやつ代 300 円)

期日: 2016 年 4 月 20 日 (水) 9:45 ~ 16:45
(受付 9 時半より)

場所: 六本木 たつみ (Tel 03 - 3401 - 9941)
港区六本木 5 - 1 - 2 ニュー後藤ビル 2F

大会講師: 柴崎健司先生

会費: 4,500 円 (会場費、昼食代、賞品、保険料他)

申込締切: 2016 年 4 月 4 日 (月) 必着 定員 36 名

申込先: ワカバ会事務局 (03 - 3451 - 0227) または中村左都子 (7 - 2) (03 - 3481 - 0823) まで

ワカバ会行事に参加して

健康麻雀大会

12-5 張 恵



「ポン」「チー」と元気な声を響かせながら、今日も私はワカバ会健康麻雀に、胸をドキドキ、ワクワクしながら、ツモればいいなあと思いつつ、馳せることも脳刺激の一役を担っている。と自己陶酔する間もなく、「ロン」という一声に我に返る。今日は恒例の大会です。会員の他も多数参加している。三田高校の堅苦しいイメージと違い、同窓生という安堵感が、いつもと同じようにリラクセスした気持で楽しめています。これも五級上の大会の會長さんはじめ皆様のおかげです。

家に帰れば、老々介護の毎日を苦に思わず、毎月最終水曜日の例会と体操教室の気分転換に喜びを感じています。願うは自己中心な発想ばかりでなく、点数もすばやく数えられるようになりたいと思います。楽しい出合いをワカバ会に感謝です。

(平成二十七年四月二十二日実施)

ワカバ会ファミリーで家族の絆

(筑波宇宙センター見学会)

39-4 友野ゆき子(麴池)

30年前の※女バレ時代、和田先生から※男バレの三輪田さんは宇宙開発事業団にお勤めとお聞きしたので覚えています。この見学会を知り、将来の夢が宇宙飛行士である小四の娘を連れて行ってあげたいと思っていました。乗り物好きの四歳の息子には高速バスとつくばエキスプレッス。肉好きの主人には筑波ハム自然味工房でのランチ。今年の夏は参加決定。折しも油井さんが宇宙に飛び立って二日目の見学コースは知的好奇心旺盛なワカバ会大先輩方のお姿。子育てを終えてからの理想の未来像を拝見。會長からは長らく現場に携わるからこそ心にしみるお話。子供連れは我が家だけで恐縮でした。



ができ、大変感謝しております。

※女子バレー部 男子バレー部

(平成二十七年七月二十四日実施)

「100万回生きたねこ」を観て

9-4 坂 敏子(早水)

絵本「100万回生きたねこ」は、ではじめのころから知っていました。一番若い私の息子に読みかかせた絵本の一冊だったのです。3、4才の子どもはどんな感じをもっていたのだらう。この絵本がミュージカルになるなんて、しかもミュージカル観賞をワカバ会の企画の中でした。道具の数は最小限。そ



狭いところに入りこんだり。飛び上がった。そのスピーディに動きまわるねこに、普段ねこ好きではないのによくよく観察して、ねこの動き、表情を演じているのだなあ、と感心してみました。白いねこに恋したねこのやさしさに私の心もほんわかしました。絵本を読み直したのは勿論でした。

(平成二十七年八月二十一日実施)

東京ステーションホテル見学会

32-4 篠原 牧子(小玉)



子供ては一段落、でも気づけば私達、まだ東京駅にもスカイツリーにも行ってない!

三田同級生の友人とそんな話をした数日後、我々のボヤキを聞いていたかのようなこの素晴らしい企画ツアーを発見した私は、友人を誘って迷わず初めての参加申し込みをした。

当日は台風にも関わらずキャンセルも出ない大盛況の中、東京駅は駅長室に始まり、天皇陛下や特別な来賓方の為の貴賓室など、通常では絶対に入れないエリアを係の方の説明と共に見学させて頂いた後、ホテルに移って客室や駅天井ドームを、またまた詳しい解説付きでじっくりと堪能させて頂く。

最後はホテルのダイニングルームで諸先輩方とお話しながらのフルコースランチ。かつて部活でお世話になった御子柴先輩と数十年ぶりの再会もあって、余計に思い出深い一日となった。

(平成二十七年九月九日実施)

わかばの輪

25期テニス部―還暦祝いで感動の再会!

25-3 三浦眞津美(林)

発端は、同期卓球部が「卓球&飲み会」をやっていると耳にしたことでした。

「羨ましい〜い」ということで、卒業以来初めての同期会は幹事の予想をはるかに超え14名も集合。昔話に花が咲いた楽しい宴となりました。不思議なことに、数十年のブランクがあったにもかかわらず、再会後は一瞬のうちにも何かかわらず、もなく話ができることに感動!!

当時同期の女子で回っていた「幻?の交換ノート」も登場し、各々が記憶の奥にしまっていた思春期の自分に出会う貴重な時間にもなったようです。

「次回は懇親テニス&飲み会で…?」さすがにこの歳になると、テニスを続けている人はたった1名でしたが、「錦織圭選手の活躍に触発されたシニアの面々が再びコートに立つ日が来るのか!」も楽しみにしながら、また逢う日を約束しました。(6月20日開催)



三田26回卒業生 祝還暦!同期会
27年5月16日 銀座周辺
26-3 前澤 弘之



振り返ると既に卒業して40年超、赤いちゃんちゃらこの似合う歳になりました。という事で、昨年のホームカミングデーに引き続き、祝還暦!同期会を開催する運びとなりました。

名近くの仲間が集まりましたが、今年は何と100名に達する勢いで、皆そそくさと会場に集合して来ました。偶に会う仲間も数十年前ぶりに会った顔も、乾杯の前から昔話に花が咲き、歳を感じさせぬ熱気が溢れていました。1次会は立食形式、2次会はライブハウス、3次会はカラオケと、この歳にしては少し冒険的なメニューでしたが、最後まで大いに盛り上がり、参加した仲間たちは、銀座の夕べを十分に堪能していました。また1次会にご参加いただいた土屋先生、松井先生には、大感謝です。ありがとうございます。また元氣に顔を合わせましょう。

28年ぶりの同窓会(39回生)

39-4 市来陽一郎

5月23日、私達39回生がお世話になった吉川先生のご退任お祝いを兼ねて、新橋の「新橋亭」にて同窓会が開催されました。39回生では、学年全体に呼びかけての同窓会は高校卒業後一度もなく、実に28年の時を超えての開催。当日は、なんと90人も同期が集合し、



実に盛大な会となりました。当時の面影が全くない方もちらほらと(笑)。話したい人がいっぱいいて、時間が全く足りず、2次会、3次会：気が付けば始発が動くまで何人も残るといふ盛り上がり(46歳で徹夜で飲むなんて…(笑))。これからは、4年に一度開催することと決定しましたので、今回残念だった同期は是非次回。最後に越しくださり、誠にありがとうございます。

第62回生同窓会

62-5 大類 脩平

今年の1月中旬頃にたまたま連絡を取っていた三年間同級クラスだった友人とのやりとりがきっかけで同窓会を行うことになりました。学年規模の人数を取りまとめるのは初めてで至らない点が多くありましたが、何とか形になれたのではないかと思います。

同窓会当日、久しぶりの再会で学生時代の懐かしい話や今だから言える話。三田高校を卒業して以降の大学生時代の話や社会人になってからの話など募る話を楽しくするに、時には真剣に会話をしている友人やご出席頂いた先生方を見て、開催して良かったと思いました。



4月29日 メルパルク東京にて

また、今回は1月に企画され4月に開催という、見切り発車で行われたので予定が合わなかったり連絡が遅れてしまいましたが、加えたい方もいますので、そう言った方も交えてこういう場がまたあれす。

三田フィルハーモニーオーケストラ 第24回定期演奏会に出演して

38-8 前島 景子(吉野)



去る7月20日、アプリコ大ホールに於いて第24回定期演奏会を行いました。今回は長年弦トレーナーとしてお世話になってきた後藤悠仁先生に指揮をお願いしました。800人近いお客様にご来場いただき、

共に至福の時間を過ごすことができました。

わたしは前身の三田高校OBオーケストラに入団し、第7回から参加しています。当時、団員は全員三田高校出身者で一つの家族のように思っていました。今でもその思いは変わることなく、周囲の支えに感謝しつつ、家庭や仕事以外にも打ち込めることがある幸せを感じながら演奏活動が続いています。

本年は当団が音楽教諭の三澤寿喜先生のご指導のもとに発足して25周年、そして来年は第25回の記念演奏会を迎えます。より多くの方々に素敵な音楽をお届けできたら嬉しく思います。

十八会イ組のクラス会

18-エ 乾 康子(西郷)

私達、第六十八回生は卒業までの間に3回クラス替えがありました。

多くの友人と知り会えましたが、煩雑なので入学時のイ組にもどし毎年5月の第三木曜日を『十八会イ組のクラス会の日』と決め、旧交を温めております。

今年も5月21日、銀座コアビル内の楼蘭にてクラス会を開きました。関西や静岡にお住まいの方々も駆けつけてくださり、総勢11名、時間を忘れて楽しい時を過ごすことができました。

また来年もお会いできることを楽しみにしております。



筆者 前列左から3番目

Information

◆初夢チャリティーコンサート

このコンサートは「東日本大震災被災者支援・知的障害者支援チャリティー」として実施しています。分かり易いと評判でした「音楽物語」を、今年は本場ウィーンで毎年上演されるオペレッタ(喜歌劇)「こうもり」を題材に演奏いたします。またゲストには年齢を感じさせない情熱と迫力のあるマリimba界のレジェンド、水野与旨久氏を迎え元気の出るコンサートを企画いたしました。ご来場をお待ちしております。

日時: 2016年1月4日(月) 開演 14時

会場: 大田区民ホールアプリコ(JR 蒲田駅徒歩3分)

出演: 東京ユニバーサル・フィルハーモニー管弦楽団

指揮: 松岡究

共演: 水野与旨久(マリimba),
オペラ歌手8名(芸大オペラ科出身)

友情出演: 東京高等学校吹奏楽部

料金: SS席 ¥5,000(ペア席 ¥9,000) S席 ¥4,000

A席 ¥3,000(自由席: 前売り ¥2,500)

問合せ/田中節子(宗近)(10-5) TEL03-3761-0980

◆三田フィルハーモニーオーケストラ第25回定期演奏会

日時: 2016年4月29日(金・祝) 14時開演(予定)

会場: 大田区民ホールアプリコ(大ホール)

(JR 蒲田駅東口徒歩3分)

曲目: チャイコフスキー/交響曲第5番ホ短調作品64
ラフマニノフ/ピアノ協奏曲第2番ハ短調作品18
他

指揮: 後藤 悠仁(日本フィルハーモニー常務理事兼事務局長、ヴァイオリン奏者)
入場無料・全席自由(チケット不要)

※未就学児のご入場はご遠慮下さい

発足から四半世紀の時が経ちました。支えて下さった皆様に御礼申し上げます。記念すべき演奏会へのご来場、団員一同心からお待ちしております。

<メンバー募集中!>高校在学時のクラブは問いません。

詳細は、<http://www.mitapo.net>

◆新刊紹介

『「空間」から読み解く世界史 馬・航海・資本・電子』

著者: 宮崎正勝(旧職員)

発行: 新潮社(選書) 定価: 1400円+税

「空間」が拡大し、新たな「空間秩序」が形成されるというドイツの政治学者カール・シュミットの「空間革命」論に基づき、世界史空間が、①原初空間、②帝国(諸地域空間)、③ユーラシア帝国(ユーラシア空間)、④大西洋空間、⑤地球空間、⑥地球規模の電子空間へと拡大する過程を世界史の道筋と考え、馬、航海、資本、電子が新秩序形成の原動力となったとみなす、発展段階説に代わる新しい歴史観に基づく世界史の概説書です。

◆新刊紹介

『シシリーの風 玉井周子歌集』

著者: 玉井周子(村上)(8-6)

発行: 柘書房

定価: 2,500円+税

同窓生訪問(5)「今、わたしは」

一貫して人間を描く

日本芸術院賞を受賞 洋画家 馬越陽子さん(41)

絵の道へ進む運命

三田高校玄関ロビーに、圧倒的な存在感を放つ1枚の大きな油絵が飾られている。「大地の歌」と名付けられた大作は、三田4回生の洋画家・馬越陽子さん(81)の作品である。

その馬越さんが今年、第71回日本芸術院賞を受賞された。芸術院賞は、日本の各芸術分野で長年優れた活動を行って芸術の進歩に貢献した人に贈られる国の榮譽賞だ。長い歴史の中で、女性洋画家として二人目の受賞者である。秋の訪れを感じさせる日、都内の閑静な住宅街にあるご自宅兼アトリエを訪問した。

初対面の挨拶から、よく通る声と若々しい笑顔、エネルギーシユな身のこなし、小柄な馬越さんの放つ、まぶしいオーラとエネルギーに圧倒された。

「赤ちゃんの時から、むずかかっていても、父の書斎の絵画の前に抱いていくと泣き止む不思議な子だったようです。小さい時からとにかく絵を描くことが好きでした。運命を感じます。」

「満員電車に乗らずに通える」という理由で、実家近くの青山学院女子中等部から高等部に進学しましたが、どうしても姉が通った第六(三田高校の前身)に行きたくて、2年進級時に親に内緒で三田高に転入の願書を出しました。無事合格して、憧れの三田高生になったのですが、三田では級友達が授業中、先生に

「満員電車に乗らずに通える」という理由で、実家近くの青山学院女子中等部から高等部に進学しましたが、どうしても姉が通った第六(三田高校の前身)に行きたくて、2年進級時に親に内緒で三田高に転入の願書を出しました。無事合格して、憧れの三田高生になったのですが、三田では級友達が授業中、先生に

積極的に反対意見を言ったり、おセンチ山で木登りしたり、自由闊達な雰囲気にとびくりしました。青学では校庭で四葉のクローバーを探していたのにな(笑)。三田の友人とは今も親しく交流しています。」

「高校時代から油絵を習っていた、東京藝大に行きたかったのですが父に猛反対され、東京女子大の英文科に進みました。シェークスピア研究会に在籍し、リア王の演劇発表では舞台装置を担当しました。俳優座の美術監督、伊藤熹朔氏を訪ねて教えるを乞うほど情熱を注いだのですが、私のスケッチを見た伊藤氏に「君は本当は絵が好きなんだね」と見抜かれ、自分の絵に対する思いを再認識、絵の勉強をしたいという思いが募りました。頭の中に山ほど書きたいものがあるのに、絵の道に進めない…一番辛い時期だったかもしれせん。」

父親を説得するために断食をしたり、デッサンの勉強に必死に取り組んだりして、滞仏30年の高名な画家に、藝大進学の勧めをもらい、ようやく、女子大をしつかり卒業するとの条件付

「明日に」1991年作 20号



「明日に」1991年作 20号

W・ブレイクとの出会い

「卒業論の資料を探して古本屋めぐりをしているときに出会った一冊の本が、その後の生き方に絶大な影響を与えることになったとか。

「そう。英国の画家で詩人のウイリアム・ブレイクの本でした。この本の中の小さな挿絵の一つに身体が震えるほどの衝撃を受けました。その空間の不思議さとヒューマンまなざしに引きつけられ、『私が描きたかったものはこれだ!』と閃いたのです。『人間性の解放—ブレイクの信仰に就いて』と題した英文卒論には、冒頭に『人間を離れて芸術はあり得ない』と記した。この時以来、人間とは何か、生命とは何かを追求して描くことが、私の一生のテーマになりました」

4年後見事藝大に入学、最初

「赤ちゃんの時から、むずかかっていても、父の書斎の絵画の前に抱いていくと泣き止む不思議な子だったようです。小さい時からとにかく絵を描くことが好きでした。運命を感じます。」





「人間の大河—我々はどこから来たのか—」2011年作 200号
我々はどこから来て、どこへ行くのか、我々は
何者なのか、を描く3部作のうちの1作

「長江の流れから強い印象を受けて、わたしが書き続けてきた「人間の河」も時を経て合流し長江のような大河になると考え、以後のシリーズには「人間の大河」と名付けています。」我々はどこから来て（9ページ参照）、どこへ行くのか、何者なのかの3部作では、赤、緑、青、黄の原色と線で「人間の大河」が力強く描かれている。

は反対した父親が一番の理解者となつて、「徹底してやりなさい」と励まし、自宅にアトリエまで作って応援してくれた。
藝大時代は60年安保のデモにも参加し、大学3年のときに同じ志の同級生と学生結婚。「青春を謳歌しました。」
その後は、「生命の歩み—遙か—」「生命の誕生」「人間の大河—天体の動きと共に—」など、次々に作品を発表し、女流画家協会賞、安井賞など数々の賞を受賞した。1993年「人間の河は解放を求めて流れる」以降は「人間の河」をテーマに描き続けている。

芸術院賞の受賞作は、第81回独立展に出品した「人間の大河—いのち舞う・不死の愛—」（本表紙参照）。生命をほとぼしらせて流れる河、それは人間そのものなのだ、という画家の主張が見るものに迫ってくる。

人の生命は大河の流れ

「作品にはいつも生命を描かなければいけないと思っています」
2007年には日本人洋画家として初めて、中国唯一の国家レベルの国立美術館・中国美術館での日中国交正常化35周年記念の個展を開催し、大成功を収め、アートの国境のないことを示した。

約3時間のインタビュで、人間・馬越陽子に魅了された。何事にも情熱を持って向き合い突き詰めていく積極的な姿勢、同志でもあるご主人の23年にも亘った看護さえも苦労話にはせずエネルギーにしよう強さ、高校時代の級友とのエピソードを懐かしそうに話す草、すべてが馬越さんのオーラだった。

「絵は私の良薬なの。体調の悪い時でも絵を描けばすぐに治る。あと20年は描き続けたいわ。」
帰り際にのぞかせていただいたアトリエには、制作中の200号の大作（193.9×259.1cm）が壁一面に掲げられ、野心的な構図に青やオレンジの鮮やかな色彩が躍っていた。

12月には、東京・日本橋三越で馬越陽子油画展が開かれる。

【作品集】

☆『馬越陽子作品集』2007年中国美術館にて日中国交正常化35周年記念個展の際に中国国内でのみ販売された、日本では手に入らない作品集です。ご希望の方はワカバ会事務局までご連絡ください。定価：30,000円

☆『馬越陽子画文集—人間の河—』

発行：美術年鑑社
定価：3,619円＋税

【個展】

『馬越陽子油画展』

日時：2015年12月9日(水)
～12月15日(火)

場所：日本橋三越本店（日本芸術院賞受賞作を始め、新作やご紹介しました3部作もご覧いただけます）

—プロフィール—

1952年三田高校卒業。56年東京女子大学文学部英文科卒業、64年東京藝術大学美術部油画科卒業後、66年同大学大学院修了。

73年日本文化庁芸術家在外研修員女性第1号として渡欧米。

独立美術協会第32回展（64年10月）初出品・初入選後、独立美術協会独立賞、安井賞展佳作賞、安田火災東郷青児美術館大賞、女流画家協会賞等多数の賞を受賞。

日本各都市、パリ、NYでの個展開催の後、2007年、国立中国美術館（北京）にて日中国交正常化35周年記念の個展開催。

08年北京オリンピック美術大会、12年ロンドンオリンピック美術大会に招待出展。

2014年度第71回日本芸術院賞受賞。



『馬越陽子作品集』

私の近況

もう少し続きそう フルートと山歩き

18-U 鈴木 和子



老人ホームで演奏 筆者後列中央

数え年の米寿、私の青春は戦争の真っ只中でした。最終学年は教室の椅子に座ったのは十日足らず、勤労働員で工場に通いました。その後、仕事と子育てで休日も子供中心の生活、音楽と登山に憧れていたのだと気付いたのは下の子の高校卒業時……。思い立つと矢も楯もたまらなくなつて、四十歳半ばなのにと不安を抱きながらも、コーラスと山の会に入会しました。周りの方々の影響からか、数時間自然に触れられればという思いはエスカレートして、七十歳寸前に日本百名山を完登。最近も、低山の静かなルート探しをしています。コーラスだけでなくフルートにも手を出しました。七十歳で音出しを経験、山歩きにも夢中で本格的に始めたのは七十七歳、現在の二つのアマチュアオーケストラに所属、騒音公害などと言われながらも楽しんでおります。

(今回は卒業回数第六末尾8、三田末尾7の方にお願ひしました。)

三田を出て六〇年

7-4 佐藤 明



くさめして見失うたる雲雀かな
砂浜から続く丘陵を散歩中(※也有)
と浮んだ句である。

この南房総の地に現役時代の別荘があり、今でも月の半分はここで妻と二人、花鳥風月を楽しんでいる。子供達は独立し、孫も四人になったので夏休みには民宿状態となる。あとの半月は、車で三時間程の自宅に戻り病院通いや友人達との交流をする。

三田を出て早や六〇年、親しい友の何人かも失い、自身の体力低下も否めない。これからは気力だ、と思う。夕食時には、元気で百才まー。There is a will, there is a way. と言つて乾杯する。この英語、恩師ミス・クラマが常々言っていた。
幾山河あつての今だが、計らずも、平静なる心境(エビクロス)に通じているかと思う。一方、馬齢を重ねたとは言え未だ七〇代、もう一旗と思わないでもない未熟者ではあつた。

※横井也有 江戸時代の俳人

生涯現役で：

17-3 白木千恵子(北崎)

地元の公立小中学校を卒業して初めての電車通学、ブレザーの制服がすてきねと母がよくほめてくれました。

校門で丁寧挨拶して下さった守衛さん、威厳と慈愛に満ちた先生方、人と違うマフラーの巻き方をしようとして端を後ろに垂らすと、引つ張られたら危ないですよと注意して下さった先生、東京オリムピック開会式チケットが手に入ったと大喜びして



いた友人、今の私があるのは、三田高で学べた一日一日のお陰です。小中学校教諭、社会教育主事等を経て五十年！子供は独立し男ばかり孫四人。研究室勤務の夫の転勤で知った地方の方々の情熱と知恵、今も交流させていただき感謝です。

足腰が痛いという夫に庭で実る桑の実やみょうが、キュウリやミニトマトをとってもらつて満足してる昨今、まだまだ現役、前向きで進みます。

卒業から40年を振りかえつて

27-7 田中 康仁

私は昭和50年3月に三田高校を卒業し、翌4月から航空自衛隊航空学生として入隊し、戦闘機操縦士の道を歩み始めました。2年間の基礎課程、2年8ヶ月の操縦訓練を経て、石川県小松市にある小松基地で戦闘機操縦士として12年間F4EJファントムの操縦士として日本海側の防空の任務に就いていました。当時のソ連機に対するスクランブル発進も度々ありました。

平成4年3月航空自衛隊を退官し、横浜市に居を構え、鉄鋼業に従事し現在に至っています。休日は近くの鎌倉の海で50歳から始めた波乗りに興じています。

最後に紙面を借りて告知します。来年27回生還暦同窓会を開催します。奮つて参加の程お願い致します。



山口県日本海上空で 筆者前席操縦士

卒後30年

37-6 吉田 英生

私の近況ですが、開業小児科医をしております。昭和大学医学部を卒業後、葛飾赤十字産院、富士吉田市立病院、昭和大学病院、公立昭和病院に勤務し、平成13年より市川市にて吉田こどもクリニックを開業しております。少子化の影響もあり、小児科医はなり手が少なく、高齢化も進んでいます。開業後14年たっておりますが、いまだに市内の小児科開業医としては最年少であり、若手?として地域医療をおこなっています。また、市川市医師会理事、市川市学校保健会常務理事、学校医等の地域活動をおこなっています。



家族は同級生である妻の裕子と、5人の子ども(4男1女)の7人家族です。長男は大学を卒業し社会人となり、末っ子の4男も中学生となり親の手を離れつつあります。掲載しました写真は子ども5人の写真となります。

変わるもの、変わらないもの

47-2 川森まさみ(田代)

結婚後転勤族となり、昨年から大阪に住んでいます。今は夫が海外赴任中の為、小学生の娘と幼稚園の息子と私の三人で生活しています。関西弁はまだまだですが、人に恵まれ、大阪の文化や食、名所巡りを楽しんだり、また意外だった事に山々に囲まれ自然が豊かなのでのびのびと子育てができ、大阪生活も気に入っています。時々三田高の通学路から見えた東京タワーの風景を懐かしく思い出しながら...



三田の友人達とは卒業して20年経つ今も仲良くしています。それぞれ環境も変わり頻繁には会えません。SNSで連絡を取り合っています。新しい土地での生活、人との出会いや別れを経験していく中で一期一会を大切に思いますが、ずっと変わらない三田の友人達の存在は生涯の宝物であり、出会えた事に感謝し幸せに思っています。

宮城で石、彫ってます

57-6 清水 玄太



私は石彫家だ。元床屋だった家。をアトリエとして活動している。

出来る環境を求めて東京から宮城に移住。何げなく入った地域の合唱団で人脈が出来今の制作環境を得た。

夢に見た自分のアトリエを得て始まった制作活動は予想以上に困難だった。中でも一番は、冬の寒さだ。

11月から雪がちらつき、隙間風で雪がアトリエに吹き込んで来た。鉄製の鑿は氷のようで、手の痛みに耐えながら制作を続けた。

そんな苦勞の甲斐あったか、銀座のとある画廊に認められ個展の開催に至った。それから様々な場所で発表の機会を得て、充実した日々を送っている。展示には当時の担任の先生や友達、弓道部の仲間がかけつけてくれる。

これからも、出会いと人の輪を大切に、精一杯活動するつもりだ。

千葉大生になって

67-1 宍戸 舞華

千葉大学に入学してあつというまに四ヶ月が経ちました。毎朝約一時間半かけて大学に通う生活にもようやく慣れてきました。三田に通っていた頃毎日みていた東京タワーにかわって、今はスカイツリーを電車の窓から眺めています。やっぱり東京タワーの方が迫力があっていいですね。

千葉大学のキャンパスはとても広く、緑がたくさんあるので、昼休みに友達と散歩したり、外でご飯を食べたりすることが最近の私のお気に入りです。高校の時とは違って大学には全国から学生が集まっていますし、留学生もたくさんいるので、日々新たな発見をしながら、個性豊かな友達と楽しく充実した大学生活を送っています。七月から三田で学習サポーターをするようになりました。少しでも受験生の力になればと思います。



学校だより

赴任して半年が経ちました

副校長 奥谷 雅之

今年の4月に新任副校長として赴任いたしました。3月までいた学校と同様、学業はもちろん、行事、部活、国際交流などの活動にも非常に熱心に取り組み生徒たちを頼もしく見ております。

この半年の間に、中学生等を対象とした説明会に行く機会を多く持ち、気がついたことがあります。一つは、当然のことながら、国際理解教育に力を入れている点を、本校の特徴としてとらえていただいていることです。一通りの説明の後の質疑では、本校生徒の留学や海外からの留学生の受け入れ、国際交流事業の様子、外国語教育などについての質問が集中します。もう一つは、意外と学習面以外の点で、知られていないのだな、ということでした。国際理解教育の面から英語教育に熱心であるとか、進路実績から学習の量・質が高いとかという話は出てくるのですが、行事や部活などにも熱心であることがうまく伝わっていない。

我々教職員も含め、同窓会の皆様にもいろいろな場面で、行事や部活・生徒の様子を見に来ていただくよう宣伝することが必要なようです。実際、弓道部、陸上部などは大会で好成績を出していますが、ロースキップングで世界大会に出場している選手やシンクロライズドスイミングでジュニアトップクラスの選手もいます。音楽系部活や放送部を初めとして文化部もがんばっています。これからも、学習と共に人生の幅を広げる活動を応援していきたいと思えます。

今年度は

9名に給付

ワカバ会丸山記念奨学金

一般社団法人ワカバ会の主要な公益事業として行われている三田高校在校生への奨学金給付は、6月の理事会で平成27年度の奨学生を決定、半年分を7月に本人に手渡した。今年度は応募者が35名あり、選考委員会では、本人の応募理由、先生の推薦文を審査、各選考委員が採点して高得点者から選考する方式をとった。その結果、1年生1名、2年生4名、3年生4名の計9名を奨学生に選んだ。会員から、奨学金に充当希望の寄付があったため、当初予算より1名多い9名となった。

理事会報告

第一回(26・4・30 18時~20時)

各委員会報告、平成25年度決算・事業報告及び平成26年度予算・活動計画について、平成26年度総会について

第二回(26・6・11 17時~18時)

各委員会報告、奨学金応募者選考承認、新理事候補の選出方法について

第三回(26・9・24 18時~20時)

各委員会報告、奨学金アンケートに基づく今後の方向性について、新理事候補の選出について、筑波宇宙センター見学について

第四回(26・11・19 18時~19時30分)

各委員会報告、新理事候補者選任について

第五回(27・1・28 17時~18時)

各委員会報告、平成27年度総会日程について、新理事候補者選任について、奨学生募集要項について

第六回(27・3・24 18時~20時30分)

各委員会報告、平成27年度予算及び活動計画について、新理事候補者選任について

総会報告

平成27年度ワカバ会総会は、5月17日(日)12時より13時まで母校体育館で開催された。

出席は、会員208名、客員10名。第六高女、三田高校両校歌斉唱、三輪田真会長の挨拶、ワカバ会名誉会長、笹のぶえ三田高校校長祝辞の後、奥谷雅之副校長から着任の挨拶、生徒たちの学校生活等の報告があった。続いて議事に入り、平山理事から平成26年度事業報告と決算報告があり、杉本監事の監査報告の後、全会一致で承認、可された。また理事改選にあたっては議長に一任され、理事が選任された。さらに平山理事より平成27年度、予算・事業計画について報告があった。

最後に米寿会員へ花束を贈呈した。

委員会報告

総務委員会

本年度のワカバ会総会は、好天の5月17日(日)、母校に同窓生が集い、無事終了しました。

今年度は丸山記念奨学生の応募が多数あり、長時間に亘つての選考委員会で決定しました。

委員長

- 鈴木美智子(9-13)
- 内堀りえ子(24-11)
- 平山 孔嗣(29-12)

総会に参加して

二回目のホームカミングデー

7-1 黒岩美彌子(大久保)

私たち高校七回生は、平成二十七年総会・懇親会にてのホームカミングデーにお招きいただき、六卓五十三名が出席させていただきました。



卒業以来初めての方、ホテルを予約して出席された方と、様々な葉を交わすうちに六十年前が甦つてまいりました。おセンチ山を背景にした写真のように男性十名、女性四十三名はすっかり高校時代に戻った気分です、元気にこの日を迎えられる事に感謝いたしました。三時より懐かしい三田通りを五月の風を受けながら同期会の会場へ、同期会からの出席者も加わり、話もはずみ一段と華やかな場となりましたが、二時間という時は短く残念ながら又の再会を約し散会となりました。お忙しい中、この会を開催してくださいました先生、ワカバ会事務局の方、役員の皆様により感謝申し上げます。

事業運営委員会

大田区鶴の木の月極契約駐車場がワカバ会唯一の収益事業で、駐車料収入は皆様からの維持会費と共に事業活動の貴重な財源として運用されており、28台駐車可能ですが、日体大カヌー収納庫も含めて現在16台分のみが契約済です。

委員長

山口謙一郎(8-1)
西上原節子(24-5)

会計委員会

会計委員会は、ワカバ会の財務会計業務全般を担当しております。維持会費納入に際しましては格別のご協力いただきまして誠にありがとうございます。

入会金、維持会費は、駐車場収入と共に経営の柱となっております。手堅い運用方法しか認められていない本会では会員の皆様の拠出による継続的な協力が不可欠でございます。会員のための事業をより充実させ、ワカバ会発足以来の「卒業生は母校とともに発展する」を実現できる会務を遂行するため一層のご協力ご鞭撻のほどよろしくお願ひ申し上げます。

委員長

平山 孔嗣(29-2)
片山 優子(19-2)
上田みづ子(28-5)

IT委員会

ホームページの更新を行っています。ホームページからもこの会報わかばがPDFファイルでご覧になれます。会員の個人情報管理には細心の注意を払っています。

委員長

平山 孔嗣(29-2)
田中 浩(32-5)

企画委員会

企画委員会では、毎年ワカバ会員の皆さんが、安心して一人で気軽に参加いただけるような行事を企画し実施しています。今年度も新企画を含め、多様な行事が揃いました。

- ① 第22回 健康麻雀大会 (4月22日実施)
- ② 第2回 筑波宇宙センター見学会 (7月24日実施)
- ③ 第2回 ワカバ会観劇会「100万回生きたねこ」 (8月21日実施)
- ④ 新企画 100周年東京駅と東京ステーションホテル見学会
- ⑤ 第12回 同窓会ギャラリー白珠祭出展(9月12・13日実施)
- ⑥ 第32回 親睦ゴルフ会 (10月15日実施)

⑦ 第10回 お祭りとのふれあい 高島藩ゆかりの歴史めぐり (10月21日実施)

⑧ 第3回 東京国立近代美術館 タッチ&トーク 工芸館 ガイドスタップによる鑑賞プログラム (11月11日実施予定)

⑨ 第3回 ワカバ会観劇会「新春浅草歌舞伎観劇会」 (28年1月中旬実施予定)

⑩ 第3回 筑波宇宙センター見学会(28年3月25日実施予定)

⑪ 第4回 ワカバ会湘南散歩「『湘南』発祥の地と目される大磯を訪ねて」 (28年3月30日実施予定)

来年度も今から楽しい企画を計画しています。どうぞ、ふるってご参加ください。

委員長

中村左都子(7-2)
桐生 郁子(4-1)
宇野 修平(8-2)

広報委員会

会報わかば第77・78号の発行を行いました。ワカバ会主催行事の告知や同期会、同窓会の告知や報告も行ってまいります。

委員長

田中 浩(32-5)
田村 和子(32-5)
津田 一哉(32-8)

平成26年度決算・平成27年度予算

自平成26年4月1日～至平成27年3月31日

(単位:円)

科 目	平成26年度予算額	平成26年度決算額	平成27年度予算額
収入の部			
1.財産運用収入			
財 産 利 息 収 入	25,000	21,879	20,000
	0	0	
2.会費・入金収入			
入 会 金 収 入	1,315,000	1,315,000	1,330,000
維 持 会 費 収 入	8,000,000	7,824,500	7,800,000
3.事業収入			
総 会 会 費 収 入	380,000	458,000	400,000
商 品 売 上 収 入	800,000	529,211	500,000
駐 車 場 事 業 収 入	5,400,000	5,511,233	5,800,000
4.寄付金収入			
寄 付 金 収 入	300,000	418,177	300,000
5.雑収入			
雑 収 入	20,000	39,314	20,000
6.繰入金収入			
公益目的準備預金取崩繰入	1,800,000	0	3,000,000
当期収入合計 (A)	18,040,000	16,117,314	19,170,000
前期繰越収支差額	10,951,588	10,951,588	9,236,897
収入合計 (B)	28,991,588	27,068,902	28,406,897
支出の部			
1.事業費			
総 会 報 発 行 費	1,300,000	1,331,587	1,350,000
行 報 事 行 費	5,000,000	5,289,282	5,300,000
商 品 企 画 費	200,000	227,647	300,000
獎 学 金 支 出 費	100,000	207,510	150,000
駐 車 場 直 接 事 業 費	960,000	1,200,000	960,000
給 与 手 当 費	3,200,000	2,911,134	3,200,000
旅 費 交 通 費	2,800,000	2,632,449	2,800,000
通 勤 費	91,000	77,713	91,000
消 耗 品 費	371,000	401,571	371,000
通 信 運 搬 費	140,000	87,269	84,000
通 信 運 搬 費	126,000	149,662	126,000
印 刷 製 本 費	154,000	129,654	126,000
情 報 微 取 理 費	315,000	303,009	315,000
情 報 微 管 理 費	385,000	371,865	385,000
会 議 費	315,000	353,507	210,000
光 熱 費	56,000	58,605	56,000
公 租 公 課 費	0	735	0
雑 費	105,000	99,348	91,000
2.管理費			
給 与 手 当 費	1,200,000	1,128,193	1,200,000
旅 費 交 通 費	39,000	33,306	39,000
通 勤 費	159,000	172,103	159,000
消 耗 品 費	60,000	37,402	36,000
通 信 運 搬 費	54,000	64,142	54,000
印 刷 製 本 費	66,000	55,566	54,000
情 報 微 取 理 費	135,000	129,861	135,000
情 報 微 管 理 費	165,000	159,372	165,000
会 議 費	135,000	151,503	90,000
光 熱 費	24,000	25,117	24,000
公 租 公 課 費	0	315	0
雑 費	45,000	42,578	39,000
3.固定資産取得支出			
什 器 備 品 費	100,000	0	600,000
4.目的預金積立支出			
記 念 事 業 積 立 金 繰 入	0	0	8,000,000
5.予備費支出			
予 備 費	200,000	0	100,000
当期支出合計 (C)	18,000,000	17,832,005	26,610,000
当期収支差額 (A) - (C)	40,000	- 1,714,691	- 7,440,000
当期繰越収支差額 (B) - (C)	10,991,588	9,236,897	1,796,897

ワカバ会役員紹介

ワカバ会は理事 16 名と監事 1 名で運営しています



2015年9月17日理事会にて

会 長	三輪田 真	(22-6)
副会長	西上原 節子	(24-5) 平山 孔嗣 (29-2)
理 事	桐生 郁子	(4-1) 鈴木 美智子 (9-3)
(再任)	中村 左都子	(7-2) 田村 和子 (10-5)
	山口 謙一郎	(8-1) 内堀 りえ子 (24-1)
	宇野 修平	(8-2) 上田 みつ子 (28-5)
	小野 紘一	(8-3) 田中 浩 (32-5)
理 事	星川 孝宜	(25-4) 小針 淳 (40-3)
(新任)	佐藤 裕彦	(29-3)
監 事	杉本 賢司	(26-4)

退任 茨木 万理 (19-エ) (元副会長)
 笠原 俊也 (15-4) (前会長)
 市倉 信義 (22-6) (監 事)

◆ 来春のNHK朝ドラ、ヒロインのモデルは卒業生の故大橋鎮子さん(10-オ)

2016年4月4日から大橋さんをモデルにした連続テレビ小説「とと姉ちゃん」が放送開始されます。

大橋さんは、2013年に亡くなられましたが、家庭総合雑誌「暮しの手帖」を創刊した方です。一般広告を掲載せず、商品テストを自社で行うなど、独自のスタイルを築きあげた雑誌づくりに生涯携わられました。

著書『「暮しの手帖」とわたし』の中で、

東京府立第六高等女学校。

私にとって、ここは「心のふるさと」「育ての親」でした。あたたかく、先生も生徒もみんなやさしく、仲がよかったのです。

と表現されています。ドラマの中で学生時代がどのように描かれるか、とても楽しみです。

追 悼

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

(敬称略)

		卒業回・組	逝去年月			卒業回・組	逝去年月
加藤 道理		旧職員	平成26.11	西泉 久子	(武田)	16-ウ	26. 5
勝又 庸夫		旧職員	26.12	小林 澄子	(岸)	16-エ	27. 1
黒澤 とみ子	(高木)	旧職員	不明	安富 敏子	(鈴木)	16-エ	24. 6
中島 文三		旧職員	26.12	川上 小百合	(土屋)	17-イ	26. 7
遠藤 春子	(小野)	(第六) 4-エ	27. 1	中村 明子	(長野)	17-ウ	26. 8
岡村 美代子	(細野)	6-イ	27. 1	土岐 尚子		17-ウ	27. 6
斎藤 婦美	(井形)	7-イ	19.	池田 直子	(鈴木)	18-ア	24. 8
遠藤 和	(宮地)	8-イ	27. 2	津本 正子	(石木)	19-イ	27. 3
吉田 照世	(黒政)	8-エ	27. 7	津本 朝吹	(佐藤)	19-イ	27. 7
熊谷 秀子	(千葉)	9-ア	不明	加藤 和子	(稲葉)	19-エ	27. 6
鶴見 道子	(鶴見)	9-エ	26. 6	稲石 れい子	(三浦)	19-オ	27. 3
泉岡 稔子	(関戸)	9-エ	27. 7	新島 昌子	(森田)	22-イ	27. 4
吉田 敏江	(小島)	10-ウ	27. 8	宮澤 道子	(平林)	(三田) 3-1	26. 4
関 うた	(新井)	10-オ	27. 2	有田 一子	(伊丹)	3-5	27. 1
植村 みち		11-イ	不明	川合 英子	(飯塚)	3-6	26.12
加藤 かつみ	(国留)	11-エ	19. 9	坂本 シゲ子	(大和)	4-6	24. 6
阿部 玲子	(阿部)	11-オ	26.12	鈴木 祥子	(由布)	5-5	27. 3
石原 道子	(櫻井)	12-ア	26. 3	田村 嘉康		6-2	27. 4
橋本 明	(井口)	12-ア	27. 6	藤本 雅子	(橋本)	7-3	27. 5
山本 とき子	(太田)	12-エ	22. 6	松永 登茂江	(森)	8-7	27. 1
木津 園枝	(八木)	12-エ	27. 6	鈴木 邦彦		9-4	25. 3
新田 昭子	(須賀)	12-オ	26.11	井上 京子	(荒川)	10-2	27. 4
原田 美代子	(吉岡)	13-ア	27. 5	岩崎 由美子	(昼間)	11-1	26.12
江下 範子	(井原)	13-イ	27. 1	飯島 保子	(小沢)	13-4	27. 4
高田 佳子	(藤野)	13-エ	27. 5	長島 和夫		17-4	25.11
太田 夕香里	(福本)	13-オ	26. 3	西脇 真弓		18-1	26. 9
小林 和枝	(小林)	13-オ	27. 4	岩上 正子	(小俣)	18-2	25.10
阿部 ふみ	(阿部)	14-ウ	27. 2	斎藤 文子	(後藤)	18-4	26.11
小笠原 薫子	(蜂須賀)	14-オ	27. 1	井村 真由美		33-7	27. 1
村田 津多子	(斉藤)	14-オ	24. 2	石井 洋之		35-3	27. 6
井上 百合子	(森本)	15-ウ	27. 6				

御寄付御礼

- ♣第六16-U 西泉(武田)久子様ご遺族様より 2,000円
- ♣第六18Sア 藤井(佐鳥)玲子様より 10,000円
- ♣三田7回7組(七重会)の皆様より 15,000円
- ♣三田8-6 玉井(村上)周子様より 10,000円
- ♣三田38-8 荻原康政様より 20,000円
- ♣匿名希望の方より2件 122,000円

—以上のご寄付をいただきました。奨学金をはじめ会の運営のために使わせていただきます。ありがとうございました。

ワカバ会駐車場

ワカバ会は、大田区鵜の木3-32-10の所有地に28台駐車可能な月極駐車場を運営しています。

駐車料収入は皆様からの維持会費同様、ワカバ会の貴重な財源として有効に活用しております。しかしながら、現在12台分が空き状態です。近隣にお住まいの方々ぜひご利用ください。また、お知り合いの方をご紹介いただければ幸甚です。

年間契約での月極駐車料金は25,000円ですが、短期利用も可能です。

お問い合わせはワカバ会事務局までご連絡ください。

所在地：大田区鵜の木3-32-10

事務局だより

◆事務局では名簿の申し込みや問い合わせに対しては慎重に対応しております。
 クラス会や同期会で名簿・宛名ラベルが必要な場合には、申込書を提出していただいた上で幹事の方へのみ有料で提供しております。申込書は事務局でご用意しておりますが、ホームページからダウンロードも可能です。

◆Facebook, Twitterのアカウントをお持ちの方はワカバ会にも「いいね!」「フォロー」をお願いします。

◆ワカバ会事務局では、長年の使用で変形して扉が開かなくなったり、A4サイズが保管できない旧型の書棚等を新しいキャビネットに一新しました。
 白を基調とした家具のおかげで事務局の印象も明るくなりました。

オリジナルグッズも見やすく陳列してありますので、どうぞお立ち寄りください。

◆ワカバ会から会員個人に対して寄付のお願いをすることはありません。同窓生を語っての金融商品の勧誘などにもくれぐれもご注意ください。

編集後記

♠秋らしい気候になりました。この時期こうやって、これを書くのですが、毎年本当に驚いています。三田の卒業生の先輩、同期、そして後輩の皆さんが多方面で元気に活躍していることです。いつも「元気」をありがとうございます。(T)

ワカバ会オリジナルグッズ

お申し込みは 電話・FAX・eメールにて、事務局まで



折りたたみトートバック
 全5色 各700円
 31×37×9cm
 (広げるとA4サイズも入ります)



たたむとこんなに小さくなります

青紫 ワイン ピンク からし色 薄緑



バンダナ 各500円



折りたたみ傘 各700円



ハローキティ根付
 650円
 (寄付込1,000円)



薄紫 紫 桃色 オレンジ ミントグリーン
 タオルマフラー 各800円



タオルポーチ 各500円



ミニタオルハンカチ各350円



クリアファイル 50円



携帯ストラップ 300円



ボールペン 150円



3色4芯ボールペン 150円



レターセット 100円
 一筆箋 100円